

…統計データを使った京都の地域分析…

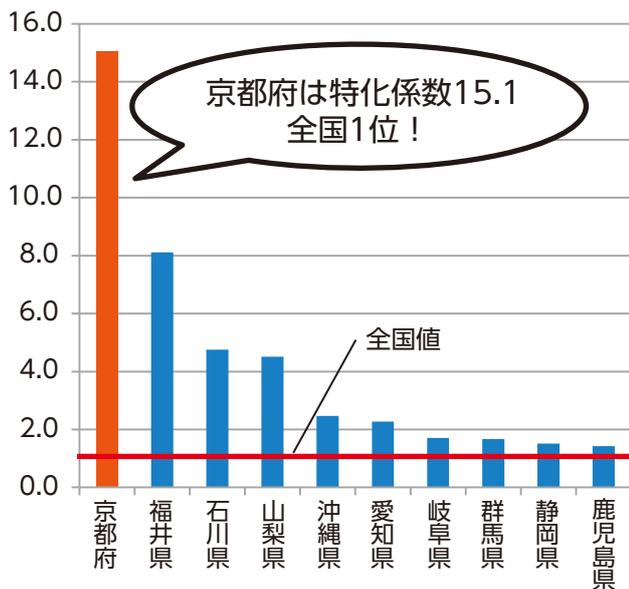
～統計調査の結果から、意外な京都の姿も見えてきます～

産業の視点から見た京都府の文化の特色

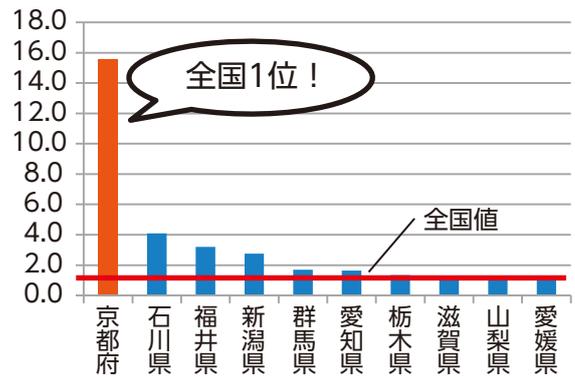
～平成24年経済センサス-活動調査より～

京都府は古くから豊かな日本文化が生き育まれてきた地ですが、統計データはどのような姿を物語るのでしょうか。平成24年経済センサス-活動調査をもとに、特化係数（※1）を切り口にして分析をしてみましょう。まずは、日本の伝統的衣装である「和装」に関する産業の事業所数を見ていきます。

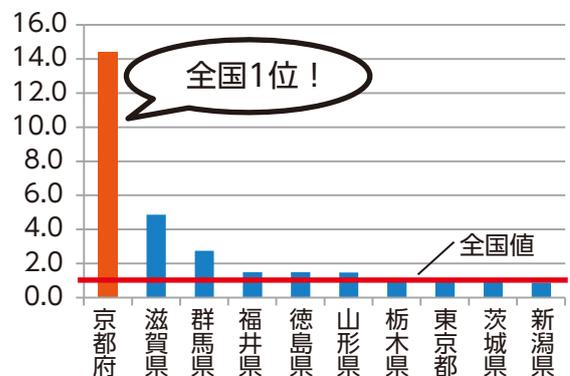
織物業の事業所数



染色整理業（※2）の事業所数



和装製品製造業（足袋を含む）の事業所数



織物業、染色整理業（※2）、和装製品製造業の事業所数はどれも2位以下に大差をつけており、京都府の特化産業と言えます。



©京都府 まゆまる 2853006

出典：平成24年経済センサス-活動調査
（総務省・経済産業省）

（※1）特化係数とは？

特化係数とは、全国と比較してどの程度特化しているか（特徴があるか）を見る指標です。特化係数が1を超えていれば、全国に比べて特化しているといえます。

$$\begin{aligned} \text{（例）京都府の織物業事業所数の特化係数} &= \frac{\text{京都府の織物業事業所数 } 2,524}{\text{京都府の全事業所数 } 117,884} \div \frac{\text{全国の織物業事業所数 } 7,751}{\text{全国の全事業所数 } 5,453,635} \\ &= 15.1(\text{※}) \end{aligned}$$



（※）小数点第2位以下で四捨五入して表記しています。

（※2）染色整理業…糸や織物、ニット生地を所定の色、柄、風合いに仕上げる加工をする事業
（8ページに続く）

京都府民の生活

～平成 26 年全国消費実態調査より～

「京都府民の生活」と聞いて、皆さんはどのようなものを想像するでしょうか。消費支出の面から京都府民の生活実態について、分析していききたいと思います。

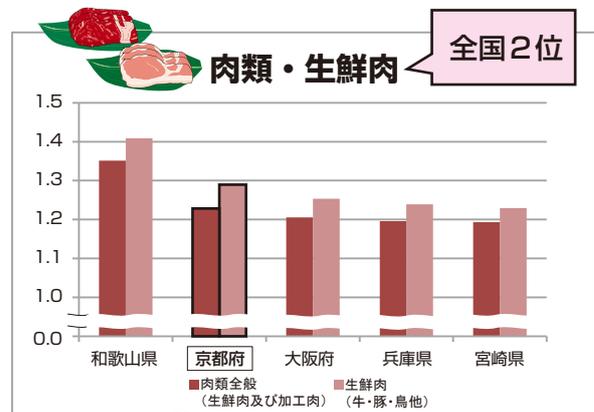
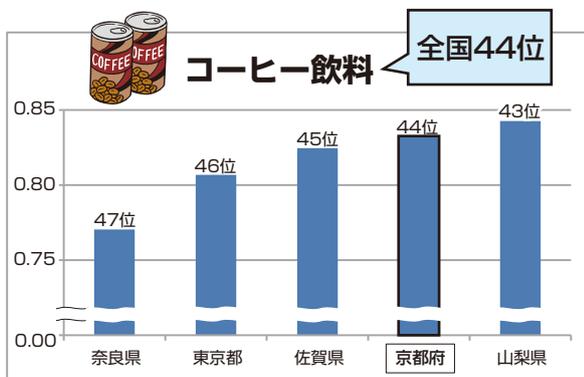
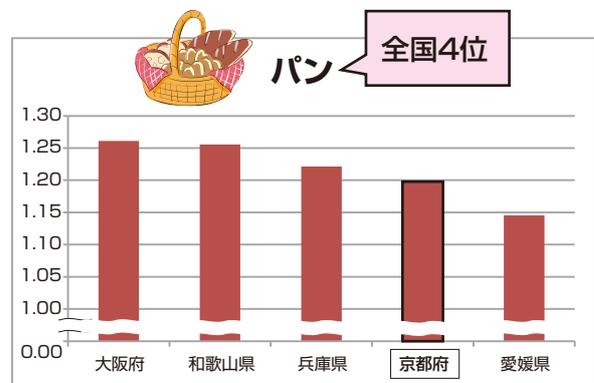
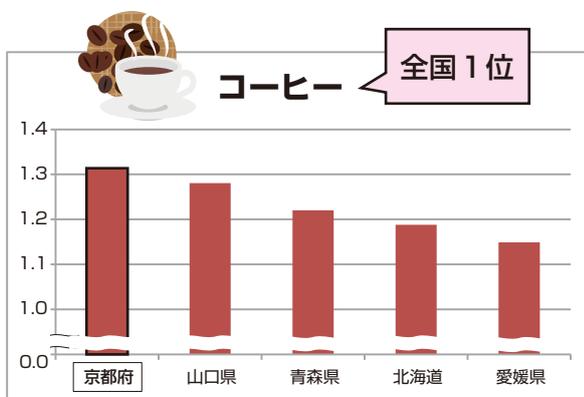
なお、比較には各消費支出の項目の特化係数（※）を使用しました。

※特化係数については1 P 参照

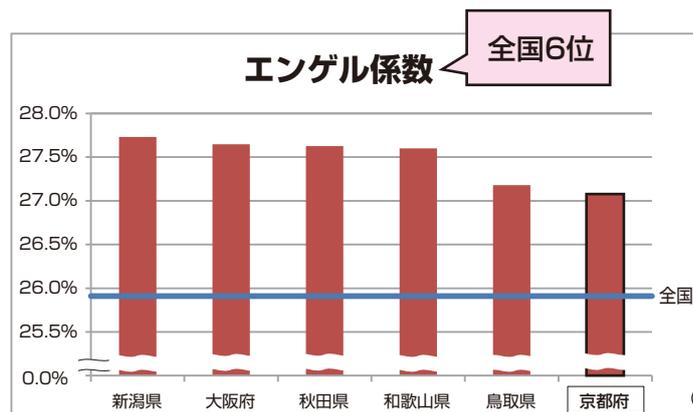
● 「食」 について

和食のイメージがありそうな京都府ですが、消費の特化係数で見ると洋食の方が好まれているような印象を受けます。コーヒーを好みながらコーヒー飲料（缶コーヒー）への支出が少ないなど、京都ならではの「食」へのこだわりも感じられますね。

また京都府は、エンゲル係数（総消費支出に占める食料への支出割合）も全国6位となっております。食への関心が高い傾向にあります。



「牛肉」全国3位 「鶏肉」全国4位 「豚肉」全国10位

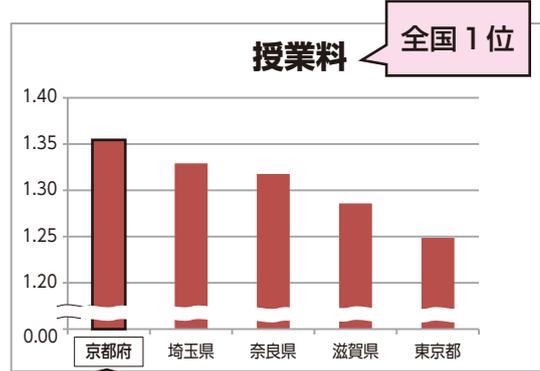


● 「教育」 について

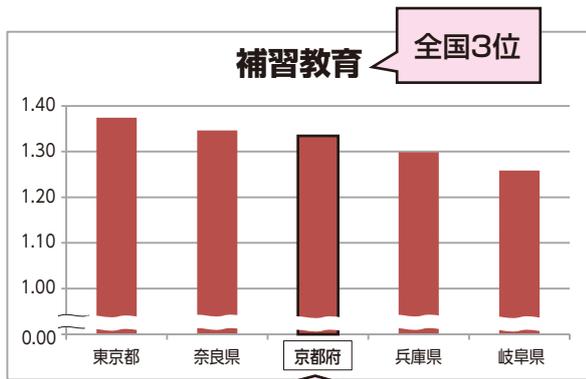
「教育」は全国1位となっています。中でも「授業料」全国1位、「補習教育」全国3位と非常に教育への関心が高いことがわかります。

京都府には大学がたくさんあるので、子どもにしっかり勉強をさせて、府内の大学へ進学させたい、と考える保護者が多いのではないのでしょうか。

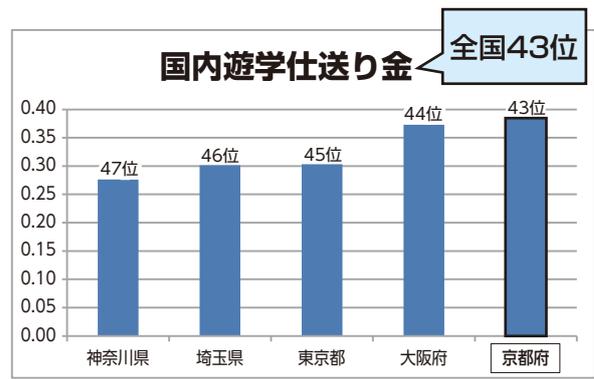
「国内遊学仕送り金」への支出が低いのは、その影響とも考えられます。



(「私立大学(授業料)」全国4位)



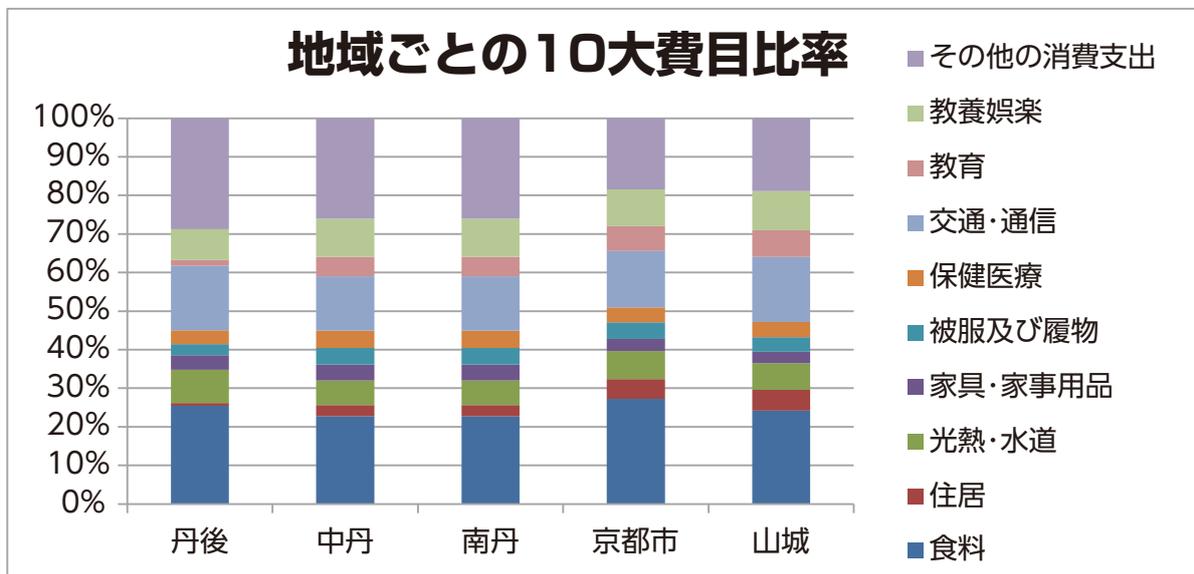
(「高校補習教育・予備校」全国2位
「中学校補習教育」全国3位)



ここまでは全国と京都府の比較を行ってきましたが、京都府内の5つの地域ごとに比較することもできます。下のグラフは、府内の各地域の10大費目への支出割合を比較したものです。

全体を比較したときに、丹後・中丹・南丹地域では「その他の消費支出（仕送り金、交際費等を含む）」が高く、京都市・山城地域では低くなっています。また、「住居」で見ると逆の結果になります。エンゲル係数（下グラフの「食料」の割合）を見ると最も高いのは京都市で、最も低いのは南丹地域です。

このように、同じ京都府内でも消費の仕方は地域ごとにも大きく変わってきます。皆さんもご自身の家計の分析をしてみたいはいかがでしょうか。



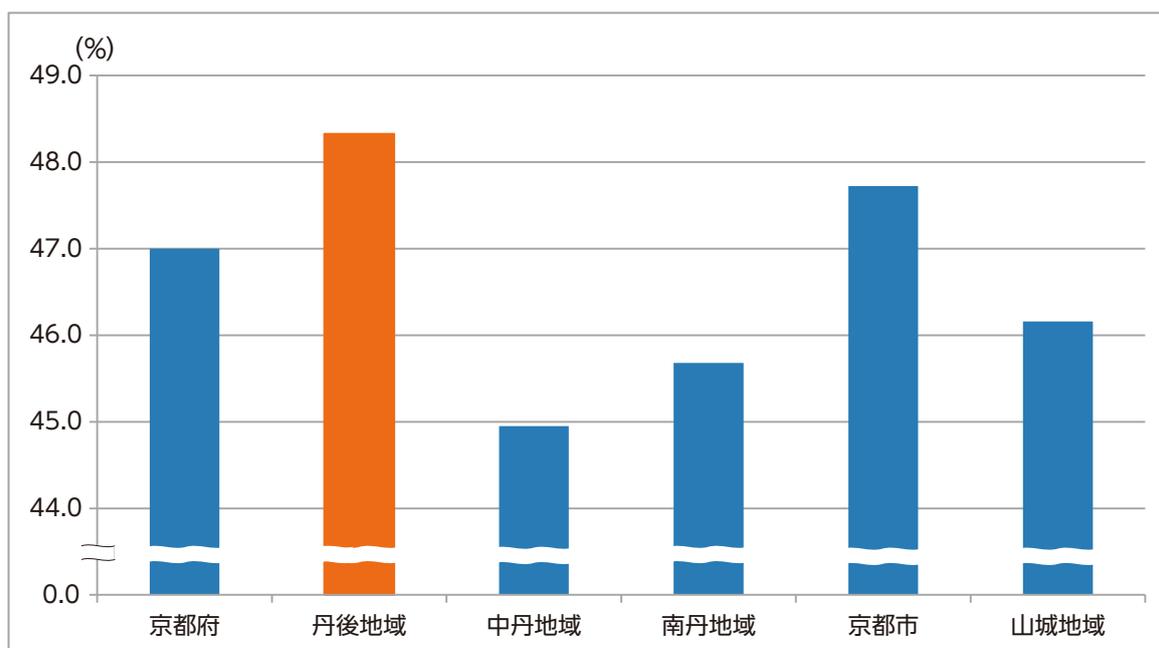
出典：平成26年全国消費実態調査（総務省）

就業構造基本調査でなにが見えてくる?? (丹後地域の女性の有業率から)

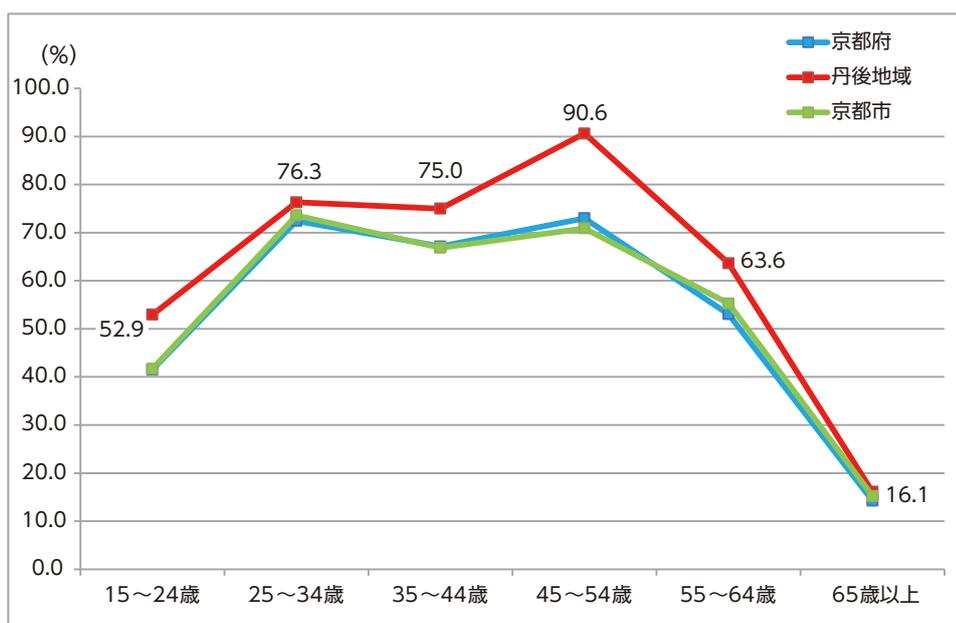
平成24年就業構造基本調査の結果から、京都府と府内各地域の15歳以上の女性の有業率（15歳以上人口に占める有業者*の割合）を見てみましょう。

丹後地域の女性の有業率が他の府内各地域より高くなっています。

*有業者…ふだん収入を得ることを目的として仕事をしている者をいいます。



次に年齢別(10歳階級)に、丹後地域、京都市、京都府の15歳以上の女性の有業率を見てみましょう。



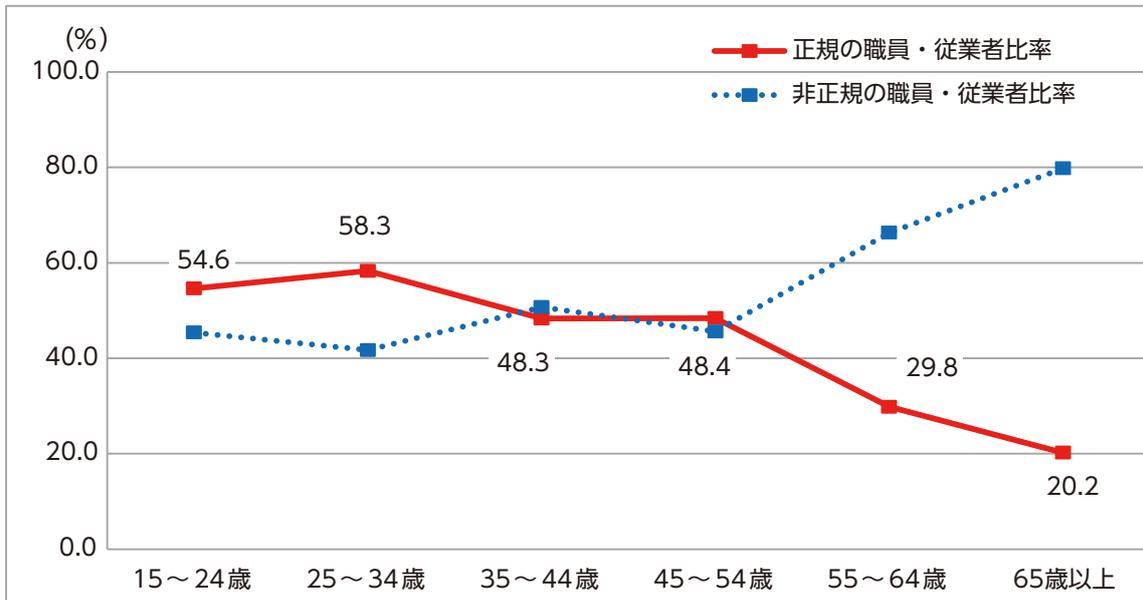
年齢別で見ても
丹後地域の女性の
有業率は高い
ですね。



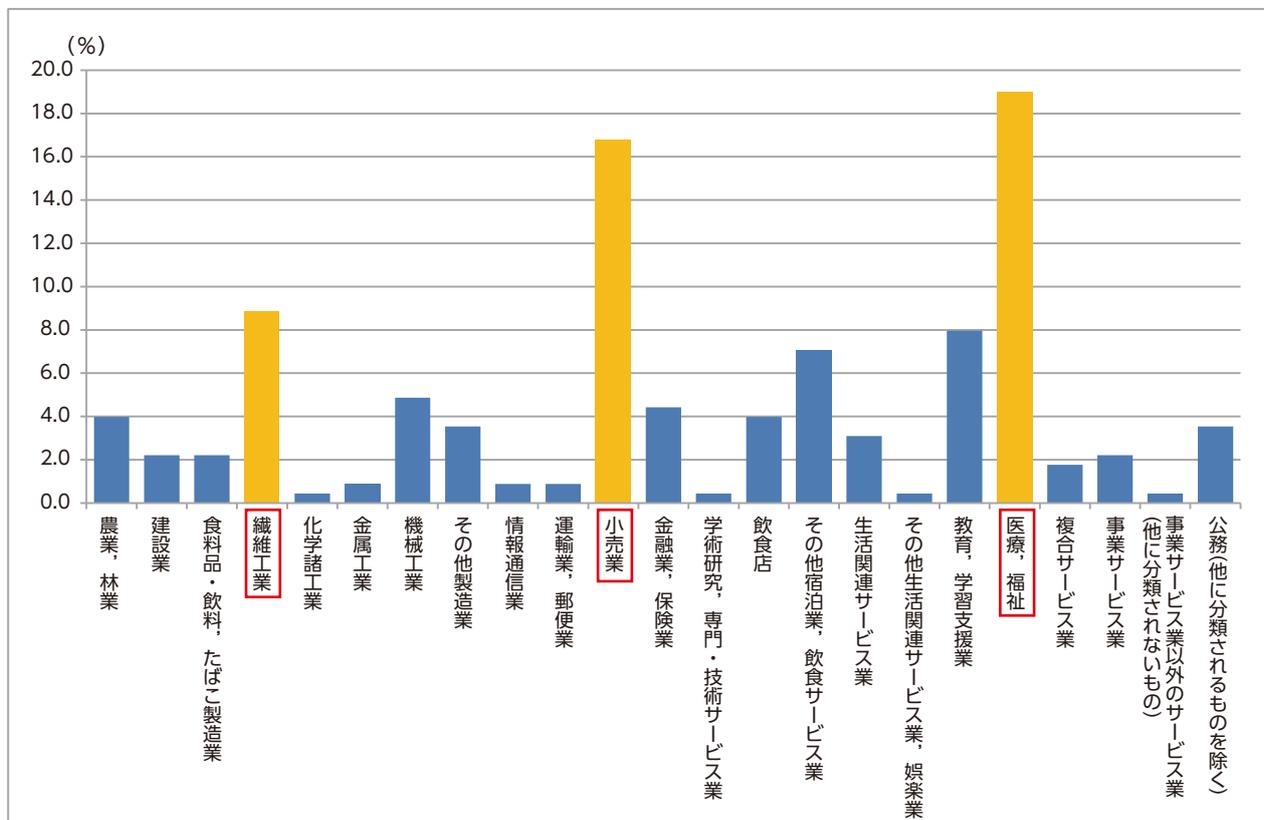
就業構造基本調査は、全国及び地域別の就業・不就業の実態を明らかにする調査です。

丹後地域の女性の雇用形態はどのようなのでしょうか？

雇用者に占める従業上の地位を見てみると、一般的に25～34歳で「正規の職員・従業者」と「非正規の職員・従業者」の割合が逆転しますが、丹後地域ではその現象は起こっていません。安定した雇用が保たれているのではないのでしょうか。



丹後地域の女性はどのような産業で働いているのでしょうか？有業者に占める産業別の割合を見ると、女性の働く産業として「小売業」、「医療、福祉」はどの地域でも上位ですが、丹後地域の特徴として「製造業」の『繊維工業』で働く人が多く、織物業との強いつながりがあるといえます。



*表章単位に満たないもの、該当数値のないものは除く *分類不能の産業を除く



今年は「平成29年就業構造基本調査」が平成29年10月1日現在で実施されます。皆さんもご自身の地域の分析をしてみませんか？

出典：平成24年就業構造基本調査（総務省）

人口推移から見る地域 ～国勢調査では人口が減っているが～

平成27年10月1日を調査期日に平成27年国勢調査が実施され、京都府の人口が確定しました。

その結果を、平成22年国勢調査を基に推計された将来推計人口と比べると、人口減少が特に問題となっている北部地域でも、予想されていたよりも減少の少ない自治体が見受けられました。その自治体の一つである福知山市の傾向を見てみましょう。

市町村別における国勢調査人口と将来推計人口

	平成27年(2015年) 国勢調査による人口 (人)	将来推計人口による 2015年人口(人)	国勢調査人口と 将来推計人口との 差の割合(%)
久御山町	15,805	15,281	3.43
福知山市	78,935	76,734	2.87
大山崎町	15,181	14,860	2.16
京田辺市	70,835	69,815	1.46
京都市	1,475,183	1,472,803	0.16
綾部市	33,821	33,785	0.11
⋮	⋮	⋮	⋮
舞鶴市	83,990	85,270	△ 1.50
宇治市	184,678	188,164	△ 1.85
和束町	3,956	4,093	△ 3.35
南山城村	2,652	2,794	△ 5.08
笠置町	1,368	1,465	△ 6.62

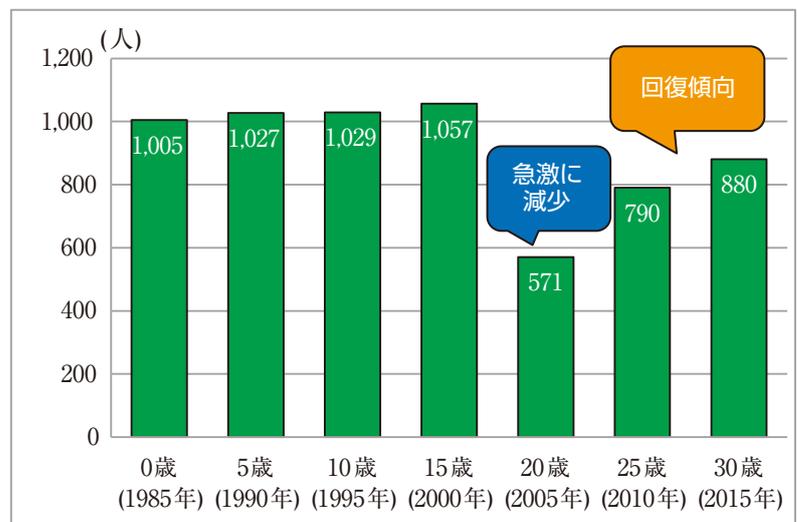


将来推計人口とは・・・国立社会保障・人口問題研究所が公表している、平成22年国勢調査を基に、平成22年10月1日から平成52年10月1日までの30年間（5年ごと）について、男女年齢（5歳）階級別の将来人口を推計したものです。

福知山市の特徴的な人口変化

福知山市では15歳から20歳になる間で人口減少が顕著に表れているね・・・大学進学等で他の市町村へ出ているのかな？

だけど、その後20歳から30歳にかけて人口が回復傾向にあるね！就職を機に人が入ってきているのかな？

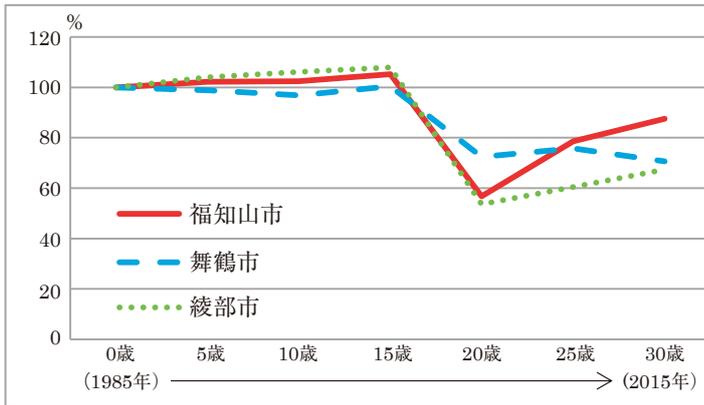


※各年の年齢不詳は各歳別の人口比で按分した

1985年に0歳の人口が、5年経過した1990年に5歳となった時の人口など、2015年(30歳)までの人口変化を5年ごと(国勢調査年ごと)について表したものの

中丹地域における人口の推移

◆1985年の0歳人口を基準とした人口推移



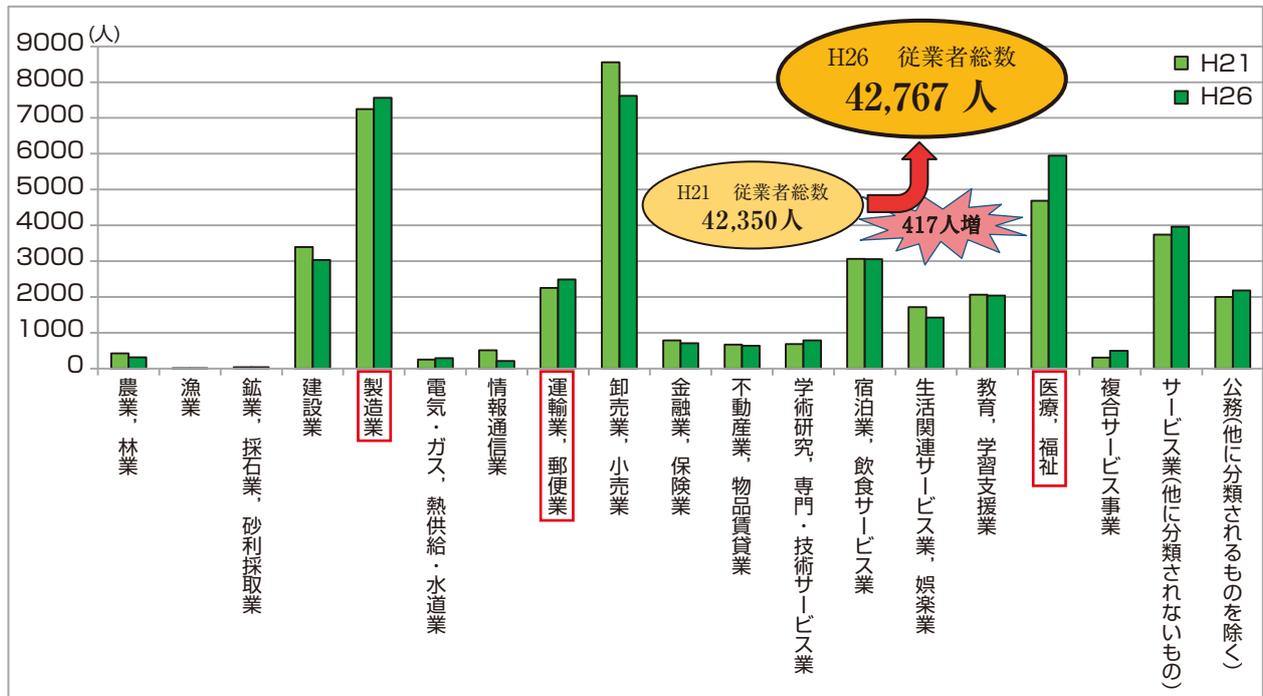
中丹地域で見ると、
20歳から25歳で福知山市
が一番回復傾向にあるね！



福知山市で働いている
人の数はどうなっている
だろう？
直近の経済センサス -
基礎調査で見よう！



福知山市における産業大分類別従業者数



Point 従業者数だけでなく、事業所の規模が20~29人、30人以上の事業所数も増加しています。



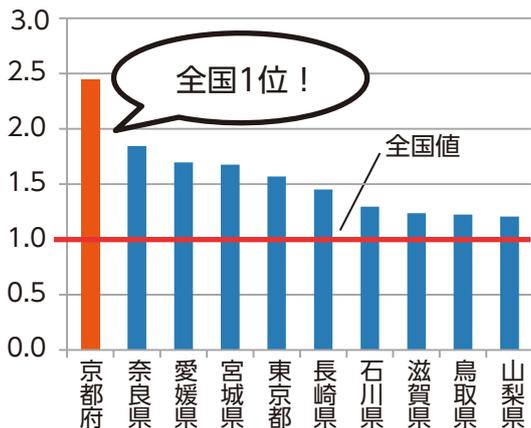
福知山市では 15歳から 20歳で減少した人口が 20歳以降で回復している、
事業所の従業者数も増えていて、減っているばかりではないんですね。
交通の便も良いから若者にとって住みやすいところなのかもしれませんね！

今回は福知山市の人口について見てみたけど、統計調査から分かること
は、色々あるんだね！
統計調査はたくさんあるから、皆さんも見てみてくださいね！



出典：国勢調査(総務省)
：経済センサス - 基礎調査(総務省)
：国立社会保障・人口問題研究所

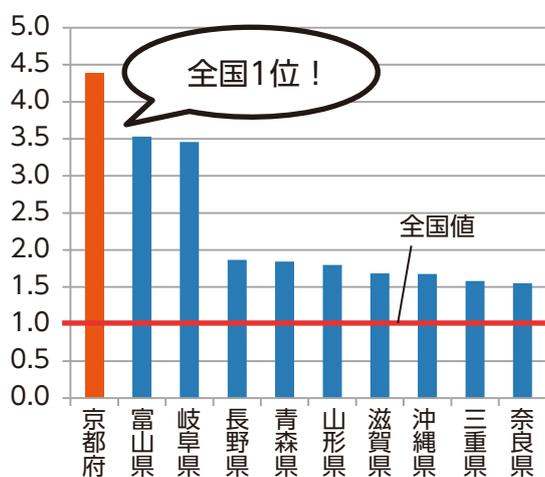
大学の従業者数



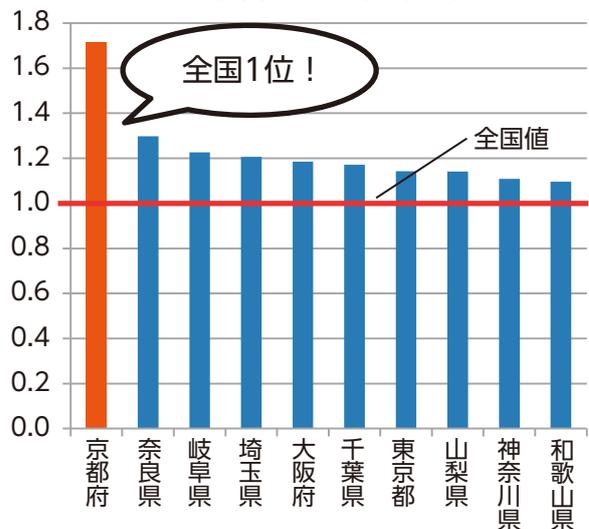
京都府内にはおよそ30の大学があり、世界に誇る学術研究と教育研究者が集まっています。「京都は学生の街」と言われますが(※3)、大学の従業者数の特化係数も全国1位です。大学の従業者数の割合の高さもまた、京都府の特色と言えます。

また、日本料理店や骨董品小売業、前述の和装産業などの古き文化に関連する産業が全国1位となる一方で、芸術家、デザイン業などの比較的新しい文化に関連する産業も全国トップレベルです。このことから、産業の視点から見た京都府の文化には、古きものと新しいものが融合して新たな価値を生み出すという特色があると言えるかもしれません。

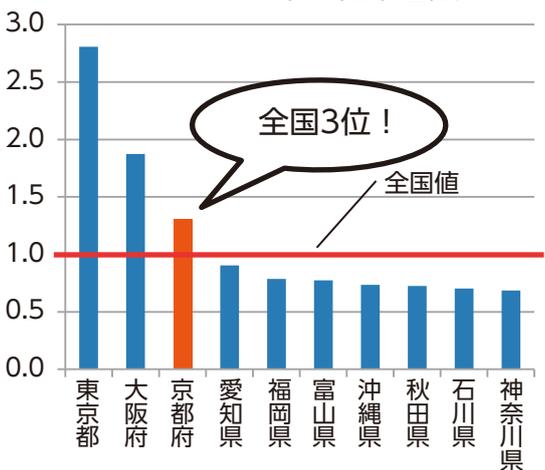
芸術家業の従業者数



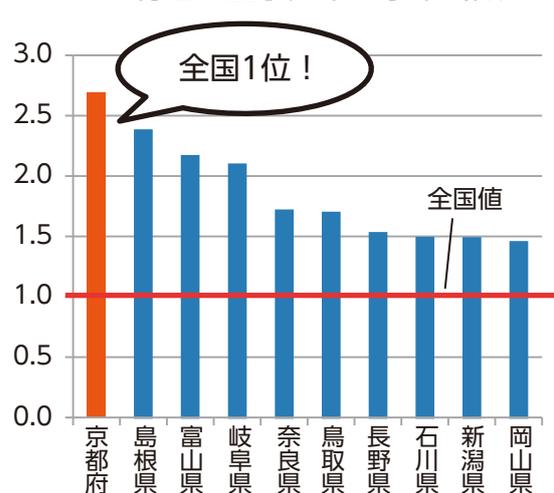
日本料理店の従業者数



デザイン業の従業者数



骨とう品小売業の事業所数



(※3) 実際に京都府の総人口に対する学生・院生の割合は6.2%であり、全国1位の高さです。(平成27年学校基本調査(文部科学省)、人口推計(総務省)より計算)

出典：平成24年経済センサス-活動調査(総務省・経済産業省)

